



鳥獣対策だより

果樹を放置したら何が起きる？

1. 餌付けになる

野生動物は食べ物に強く執着しますので、一度エサがあると覚えた場所を繰り返し訪れるようになります。つまり、果樹を放置することは、野生動物を餌付けしているのと同じことなのです。

2. 人間に慣れさせてしまう

野生動物が何度もエサを食べにくると、人間に近づく機会が増えます。人間が気づかなかつたり、対策をしないまましていると、人間は怖くないものだと、野生動物に誤った学習をさせてしまいます。

3. 遭遇リスクが高まる

環境に慣れた野生動物は、大胆に行動するようになります。住宅地や農地にも出没する可能性が高まります。野生動物と人間の接触は、事故の危険が高まるうえ、衛生的にも悪影響があります。

果樹被害を防ぐための対策例

対策	注意点
伐採	効果は高いが、個人での対策が難しい場合も
枝打ち	個人で高い木を完全に対策するのは難しい
早期収穫	高い木では全て収穫するのが難しい
落果拾い	木に登れる動物には効果がない
追払い	間違ったやり方をすると、効果がない
柵設置	設置した柵は、継続的に管理する必要がある

管理出来ない果樹は伐採するのが理想ですが、実行可能な対策を行うことで、被害を減らすことができます。

裏面は動物が好む果樹

季節別

野生動物に狙われやすい果樹

	春	夏	秋	冬
クワ	→			
ウメ	→			
ビワ	→			
イチジク		→		
カキ			→	
クリ			→	
ユズ				→

注意

果実は青いうちから狙われる可能性があります。実がつき始めたら対策を実施しましょう。

基本的な鳥獣被害対策や対策事例については、過去の「鳥獣対策だより」をご覧ください。スマホやタブレットで右のQRコードを読み込むか“福島県 鳥獣対策だより”で検索！



支援員日記

富岡町では午後9時にコンビニも閉店してしまいます。仕事が遅くなると、晩御飯の心配をしなくてはなりません。昨年町内に設置さ

れた冷凍自動販売機は、そんな夜の強い味方。本格的なラーメンや肉汁たっぷり餃子などが味わえると支援員内でも評判です。(石井)

福島県では、避難地域鳥獣対策支援員を避難地域12市町村に配置しています。地域住民と共に鳥獣害対策に取り組み、コミュニティの再構築を図ることを目的としています。



対策のご相談、情報提供はお住まいの市町村役場の担当課へ！